

令和6年10月25日
水管理・国土保全局
水資源部水資源計画課

豊川水系における水資源開発基本計画等の変更について審議します ～需要主導型の水資源開発の促進からリスク管理型の水の安定供給へ～

10月30日(水)に第25回国土審議会水資源開発分科会を開催し、豊川水系における水資源開発基本計画等の変更について審議します。

豊川水系については、危機的な渇水、大規模自然災害、施設の老朽化・劣化に伴う大規模事故など、近年、水資源を巡るリスクが顕在化している状況を踏まえ、平成29年5月国土審議会の答申に基づき、リスク管理型の「水資源開発基本計画」に向けた全部変更に係る審議を豊川部会において進めてきました。今回は、令和6年3月以降3回にわたる部会での審議を経てとりまとめた「豊川水系における水資源開発基本計画」の全部変更、その他「利根川及び荒川水系における水資源開発基本計画」及び「木曾川水系における水資源開発基本計画」の一部変更（予定工期の変更）について審議します。

- 日時： 令和6年10月30日（水）13:30～15:30
- 場所： 中央合同庁舎2号館 1階共用会議室1（千代田区霞が関2-1-2）
- 委員： 別紙1のとおり
- 議題： (1) 「豊川水系における水資源開発基本計画」の全部変更について
(2) 「利根川及び荒川水系における水資源開発基本計画」の一部変更について
(3) 「木曾川水系における水資源開発基本計画」の一部変更について
(4) その他
- その他：

- ・本会議は、会議室における対面形式とWEB形式を併用して実施する予定です。
- ・傍聴については、WEB形式とさせていただきます。回線容量の都合上、傍聴の接続は1人・1社（団体）につき1回線までとさせていただきます。通信状況等により映像の乱れや一時的な停止があることをあらかじめご了承ください。
- ・傍聴を希望される方は、10月29日（火）12:00までに以下の送付先までメールにてご連絡ください。ご連絡頂いた方にWEB傍聴用のURLと資料を送付します。なお、希望者が多数の場合は、先着順とさせていただきますのでご了承ください。

件名：【傍聴希望】第25回国土審議会水資源開発分科会

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先

送付先：hqt-mizushigen-k@ki.mlit.go.jp

- ・会議の資料及び議事録は後日、以下の国土交通省ホームページに掲載します。
https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s102_mizushigen01.html

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 水資源部 水資源計画課

企画専門官 中邨(内線31203)、課長補佐 今津(内線31224)

TEL: 03-5253-8111(代表)、03-5253-8387(直通)

国土審議会 水資源開発分科会 委員名簿

区分	氏名	現職
委員	木場 弘子	フリーキャスター、千葉大学客員教授
	◎ 渡邊 紹裕	京都大学名誉教授・特任教授
特別委員	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究院教授
	石井 晴夫	東洋大学大学院経営学研究科名誉教授
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授
	○ 沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授
	佐藤 清和	水道マッピングシステム株式会社 代表取締役副社長
	滝沢 智	東京大学大学院工学系研究科教授
	立川 康人	京都大学大学院工学研究科教授
	辻村 真貴	筑波大学生命環境系教授
	戸田 祐嗣	名古屋大学大学院工学研究科教授
	古米 弘明	中央大学研究開発機構機構教授

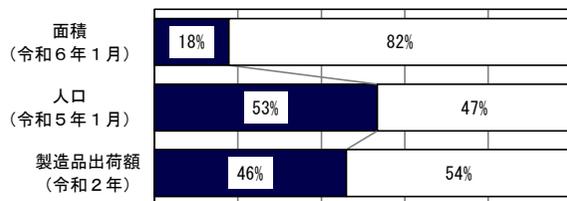
(◎ : 分科会長、○ : 分科会長代理) ※敬称略・五十音順

水資源開発基本計画

水資源の総合的な開発及び利用の合理化の基本となる計画で、我が国の産業と人口の約5割が集中する全国7つの水系において閣議決定・国土交通大臣決定されている。〔根拠法令：水資源開発促進法（昭和36年法律第217号）第4条〕

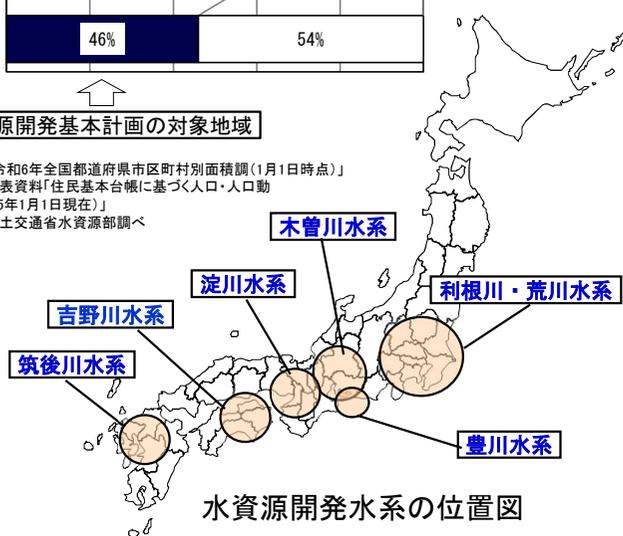
- 【記載内容】
- ①水の用途別の需要の見通し及び供給の目標
 - ②供給の目標を達成するため必要な施設の建設に関する基本的な事項
 - ③その他水資源の総合的な開発及び利用の合理化に関する重要事項

全国の面積・人口・製造品出荷額等に占める
水資源開発基本計画の対象地域の割合



(出典)
 ・面積：国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」
 ・人口：総務省報道発表資料「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(令和5年1月1日現在)」
 ・製造品出荷額等：国土交通省水資源部調べ

水資源開発基本計画の対象地域



各水系の水資源開発基本計画の概要【令和6年7月時点】

	一部変更 利根川水系 及び荒川水系	全部変更 豊川水系	一部変更 木曾川水系	一部変更 淀川水系	一部変更 吉野川水系	一部変更 筑後川水系
水系指定	昭和37年4月 (利根川水系) 昭和49年12月 (荒川水系)	平成2年2月	昭和40年6月	昭和37年4月	昭和41年11月	昭和39年10月
計画決定	令和3年5月 (6次計画)	平成18年2月 (2次計画) -令和5年1月 一部変更	平成16年6月 (4次計画) -平成30年3月 一部変更	令和4年5月 (6次計画)	平成31年4月 (4次計画) -令和5年1月 一部変更	令和5年1月 (5次計画)
目標年度	令和12年度を目標	平成27年度を目標	平成27年度を目標	令和12年度を目標	令和12年度を目標	令和12年度を目標
水資源開発基本計画 掲上事業						
完了した事業※ (改築事業を除く)	26事業	1事業	8事業	13事業	7事業	12事業 (ただし、概成の1事業を含む)
実施中の事業	5事業	2事業	2事業	—	4事業	4事業
水の供給量もしくは供給区域を変更する事業	●思川開発事業 ●霞ヶ浦導水事業	●設楽ダム建設事業 ●豊川用水二期事業	●木曾川水系連絡導水路事業		●吉野川下流域用水事業	●寺内ダム再生事業
水の供給量及び供給区域の変更を伴わない事業 (包括掲上)	○利根導水路大規模地震対策事業 ○成田用水施設改築事業 ○利根川河口堰大規模地震対策事業		○木曾川用水濃尾第二施設改築		○早明浦ダム再生事業 ○香川用水施設緊急対策事業 ○旧吉野川河口堰等大規模地震対策事業	○福岡導水施設地震対策事業 ○筑後川水系ダム群連携事業 ○筑後川下流用水総合対策事業

※国及び独立行政法人水資源機構等が実施した事業で、新たな水資源開発を行った事業。

○水資源開発基本計画の全部変更に着手 ～需要主導型からリスク管理型への転換を推進～

- ・近年、危機的な渇水、大規模災害、施設の老朽化など、水資源を巡る新たなリスクが顕在化している現状を踏まえ、国土審議会からの答申(平成29年5月)に基づき、従来の需要主導型の「水資源開発の促進」からリスク管理型の「水の安定供給」へと、水資源開発基本計画の変更を順次実施。
- ・令和5年7月現在、5水系の計画で閣議決定・国土交通大臣決定。
- ・残りの2水系のうち、今回、豊川水系についてリスク管理型へ見直し(全部変更)予定。

現行「豊川水系における水資源開発基本計画」の概要

- 豊川水系は、平成2年2月に水資源開発水系に指定され、平成2年5月に水資源開発基本計画(1次計画)が決定。
- 現在は、平成18年2月に策定された第2次計画。

1. 水の用途別の需要の見通しと供給の目標

- (1) 目標年度
平成27(2015)年度目途
- (2) 供給地域
豊川水系に水道用水、工業用水及び農業用水を依存している静岡県、愛知県の諸地域
- (3) 水の用途別の需要の見通し
 - ◆ 水道用水 : 約 4.5 m³/s
 - ◆ 工業用水 : 約 1.6 m³/s
 - ◆ 農業用水 : 約 0.3 m³/s (新規需要)
- (4) 供給の目標
近年の降雨状況等による流況の変化を踏まえた上で、地域の実状に即して安定的な水の利用を可能にする。
 - ◆ 供給可能量
 - ・ 近年の20年に2番目の渇水年の流況 : 約6.5m³/s
 - ・ 計画当時の流況 : 約7.9m³/s

2. 供給の目標を達成するため必要な施設の建設に関する基本的な事項

- (1) 設楽ダム建設事業
- (2) 豊川用水二期事業

3. その他水資源の総合的な開発及び利用の合理化に関する重要事項

- ・ 水源地域の活性化
- ・ 健全な水循環の重視 (河川環境の保全等)
- ・ 地下水の適切な保全と利用
- ・ 水利用の合理化 (漏水の防止、回収率の向上、再生利用等)
- ・ 渇水に対する安全性の確保
- ・ 水質及び自然環境の保全への配慮

4. 変更の経緯

- | | | | |
|------------|---|-------------|----------------------------|
| H 2. 2. 9 | 水系指定 | H18. 2. 17 | 全部変更 (水需給計画変更) |
| H 2. 5. 17 | 基本計画策定 (水需給計画決定、設楽ダム、豊川総合用水、豊川用水施設緊急改築) | H20. 6. 3 | 一部変更 (豊川用水二期の工期変更) |
| H11. 4. 7 | 一部変更 (豊川用水二期の追加、豊川総合用水の事業主体変更等) | H27. 12. 18 | 一部変更 (豊川用水二期の工期変更) |
| | | R 5. 1. 31 | 一部変更 (設楽ダムの工期変更、豊川用水二期の変更) |

豊川水系における水資源開発施設とフルプランエリア

